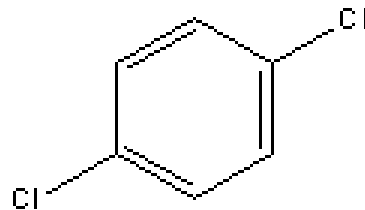


# *p*-ジクロロベンゼン の化学物質審査規制法に基づく リスク評価(一次)評価Ⅱ 結果のまとめ

優先評価化学物質通し番号:53  
生態影響に係る評価



環境省大臣官房環境保健部  
化学物質安全課 化学物質審査室

## ● *p*-ジクロロベンゼンの概要※1

### ◆用途

- *p*-ジクロロベンゼンは、常温で白色の固体です。空気中で、固体の状態から液体にならずに気化し、強い臭いを発します。*p*-ジクロロベンゼンの用途の半分は、衣類の防虫剤やトイレなどの防臭剤が占めています。この他、電気・電子部品、自動車部品、機械部品、医療部品に用いられる合成樹脂の原料や、農薬などの原料としても使われています。
- 主に衣料用防虫剤、トイレの防臭剤、樹脂の原料として電気電子部品、自動車部品、機械部品、医療部品用に使用される。また少量ではあるが、農薬及び樹脂添加剤(紫外線吸収剤)の中間体の合成原料として使用される。

### ◆環境中での動き

環境中へ排出されたジクロロベンゼンは、大気中では化学反応によって分解され、*p*-ジクロロベンゼンは6時間～0.5日で半分の濃度になると計算されています。

水中に入った場合は、一部は水中の粒子や水底の泥に吸着されると考えられますが、主に大気中へ揮発することによって失われると推定されます。

## ● *p*-ジクロロベンゼンの有害性(生態への有害性の概要)※2

- 水生生物について、3 栄養段階での慢性毒性値が得られており、そのうち、一次消費者の繁殖阻害に対する無影響濃度 (NOEC) 0.10mg/L が最小値となり、これを「10」(室内から野外への外挿係数) で除し、*p*-ジクロロベンゼンの PNECwater として 0.010mg/L (10μg/L) が得られた。
- 底生生物の信頼できる有害性データは得られなかったため、水生生物に対する PNECwater から 平衡分配法を用いて、底生生物に対する PNECsed を導出した。乾重量換算で 0.488mg/kg-dry が得られた(湿重量換算 0.106mg/kg-wet)。

### <有害性評価値>

	水生生物に対する有害性情報	底生生物に対する有害性情報
PNEC	0.010 mg/L	0.488 mg/kg-dry
キースタディの毒性値	0.10 mg/L	-
UFs	10	-
キースタディの エンドポイント	一次消費者(甲殻類)の繁殖阻害に係る慢性影響に対する無影響濃度(NOEC) オオミジンコ	(水生生物に対する PNECwater と Koc からの平衡分配法による換算値)

PNEC: 予測無影響濃度  
UFs : 不確実係数積

## ● *p*-ジクロロベンゼンのリスク評価の結果（環境モニタリング）※2

- 環境モニタリング結果を用いてリスク評価を行ったところ、リスク懸念箇所はみられなかった。

### ＜リスク評価結果＞

PEC/PNEC比の区分	水生生物	底生生物
$1 \leq \text{PEC/PNEC}$	0 (ND:1,140)	0
$0.1 \leq \text{PEC/PNEC} < 1$	1 (ND:77)	0
$\text{PEC/PNEC} < 0.1$	7 (ND:144)	0 (ND:17)

PEC: 予測環境濃度  
PNEC: 予測無影響濃度

*p*-ジクロロベンゼンは人健康影響の観点からは評価 I 継続中であるため、引き続き優先評価化学物質とする。

## ● 出典

※1 化学物質ファクトシート

<https://www.prtr.env.go.jp/factsheet/factsheet.html>

※2 審議会資料(R8.1)

[https://www.env.go.jp/council/05hoken/page\\_00041.html](https://www.env.go.jp/council/05hoken/page_00041.html)